

第24期第12回（平成30年度第5回）公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成30年10月18日（木） 午後3時～5時
開催場所	中央公民館・301学習室
委員	(出席者) 11人 (欠席者) 0人
職員	尾又中央公民館長、富田中央公民館事業係長（記録）、佐野南街公民館長、森田狭山公民館長、三宅蔵敷公民館長、蓑田上北台公民館長
傍聴者	0人
会議次第	審議事項 (1) 平成31年度公民館の重点目標について (2) 公民館運営審議会委員研修会について (3) 答申文案検討について
配布資料	(全委員に事前配布) ・答申書（案） ・公民館運営審議会委員研修会についてのアンケート集計結果  (全委員に当日配布) ・『東京の地域教育』
開会前事務局	事務局からの報告等 はじめに、住吉委員より本日1時間ほど遅れて到着するとの連絡をいただいておりますのでご報告いたします。 つづきまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 本日の会議資料は、事前に送付いたしました資料としまして、「答申書（案）」、「公民館運営審議会委員研修会についてのアンケート集計結果」でございます。 また、お手元の封筒が本日の追加資料でございます。 ご確認をお願いいたします。 なお、前回9月27日の会議録につきましては、次回の開催通知を送付する際に同封させていただく予定でございますのでご承知おきください。 つづきまして、平成30年10月1日付けで職員の異動がございましたので、中央公民館長の尾又よりご報告いたします。
尾又館長	10月1日付けで職員の異動がありましたので、お知らせさせていただきます。 南街公民館長北野が納税課管理係長へ着任いたしました。南街公民館長として狭山公民館長の佐野が着任いたしました。狭山公民館長には新たに納税課から森田が着任しております。 前南街公民館長北野から挨拶いたします。（挨拶） 南街公民館長佐野から挨拶いたします。（挨拶） 狭山公民館長森田から挨拶いたします。（挨拶）
会議の要旨	
委員	それでは、審議事項「平成31年度公民館の重点目標について」を議題といたします。尾又中央公民館長、説明をお願いします。
尾又館長	実はですね今日18日に入りました「アサココ」という地域紙なんですけど、2ページの方に「自由民権の里 東大和」ということで去年の市民大学Aコースで五日市憲法や自由民権運動について勉強した中で朗読劇を軸に先日9月24日の「明治150年と五日市憲法発見50年」の講演会の中でも最初に朗読劇を上演したわけですが、こちらの記事に付きまして、また今度10月27日上北台公民館まつり

	<p>で上演されるということで、大きな面を使って書いていただきました。公民館としましては皆さんに注目されるような事業が来年もやれたらと考えております。</p> <p>また、都公連大会の事務局として2月3日の大会に向けて準備を進めているところですが、全体会でご講演いただきたいと考えております東大の牧野先生からメールをいただきまして、その中で情報をいただきましたのでご紹介いたします。「10月16日に文科省の組織再編があり生涯学習政策局が総合教育政策局へと改変され、社会教育という名称が課名からも消えてなくなりました。反面で、社会教育振興統括官のポストが新設され、ここが新たな学習3課を統括することとなります」もう一つ中教審の答申を求めているところですが、そちらの方も一面で「社会教育施設の一般部局への移管を特例的に認める」といっても、社会教育の機能を強化するという方向で調整が進められています」というような情報提供をいただきました。文科省の組織も改変されたり社会教育部局が一般部局のほうへ移管がしやすくなっているような色んな情勢を抱えております。</p> <p>そのような状況をかながみまして31年度の重点目標を皆さんと作って行きたいと思っております。前回のご審議の中では特に内容についてのご意見はまだいただけてないかなと思います。前は文章の文末を「です。ます。」調なのか「である。」調なのかということでご審議いただいておりますので、こちらについてまだ結論が出ない状況で本日迎えておりますのでご審議いただきたいと思っております。宜しくお願い致します。</p>
委員	説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	前回多かった意見は「です。ます。」調がいいのかなという意見があったように思いますが、他市の表記の仕方はどうなのかなと思って見て見ましたら、色々でした。「です。ます。」調のところもあれば、「する。」というような形のところもあったので、これは私達の想いというか考え方でいいんだなと思ったんですけど、これから周年事業に向けてですとかパンフレットを配布することを考えると、尾又館長に質問なんですけどパンフレットには「です。ます。」調で書かせていただいて、報告書と表現の仕方が変わっても大丈夫なんでしょうか。
尾又館長	平成30年度版につきましては図書館や社会教育課と合わせて「である。」調で表現させていただきました。
委員	公民館の内容が皆さんに伝わるかということだと思うんですけど、私は「です。ます。」調の方が良かったかなという意見です。
委員	私は手元に25年度から持っているんですが、25年度は今のスタイルとほぼ同じなんですけど、この前年22、23年辺りのところから広く市民の皆様を読みやすい表現が良いんじゃないかという節があり、25年度からは「です。ます。」になっている。この書き方も25年度については前文がハートで占めている「こんな思いがありますよ」という、次に公民館の運営として「公民館の事業」これだけですね、裏側については、それぞれの公民館がどんな風にしていきますよとしてあり、これを市民の皆様という所に置いてありました。この重点目標を25年度の時に前文を付けていったのを思い出してきたんですけど、26年度のスタイルは一緒なんです、まず思いを書いてそれから柱です。この柱が段々増えてくるんですけど、数だけで見ますと公民館の運営と施設については(3)までだったのが、翌年26年

	<p>度になると(4)になる、事業については(1)から(3)までだったのが26年度になると(5)までになる、ここで市民大学という言葉が出てきますね。</p> <p>それから27年度になると、どうやって重点目標を決めたのかということをも市民に訴えようという事が入ってきます。公民館の重点目標策定にあたりという前文になっています。こういうことを考えたので今年はどう決めました、公民館としては課題をどううちました、そして重点目標が書いてあり、段々広がっていったんです。この時点で内側については大きく変りまして、公民館の事業計画を表側の(1)から(6)の重点のどこに、それぞれの公民館の事業が当てはまるのか丸印を付けて市民の皆様に分かりやすくしようじゃないかという事になり大分細かいように見える表記になっています。</p> <p>さらにバージョンアップしたのが翌年、28年度ですけど、写真もいっぱい入れようよという事になり、半分は写真で、前年度では重点目標策定にあたりとか公民館としての課題を載せた部分を無くしまして、写真を入れて手に取って見てもらえるように、公民館を注目させるようにし、片面の方は重点目標運営として、現在の30年度に近いスタイルに「します。」という表現になっています。29年度は写真が好評を得たためか写真を取り入れまして半分は29年度の重点目標になっています。裏側については表側の運営の項目に合わせたそれぞれ公民館の事業がこれに当てはまりますと印を付けて市民の皆様が分かるようにしてあります。</p> <p>そして今年、というわけで私が関わってきた中では基本の考え方というのは市民の皆様がまず東大和市の公民館に注目してもらおう事が一番、何かやってみたいだけではなくて、そんなイベントがあるなら行ってみようかな、そんな講座があるなら聞いてみようかなというふうに思いをまず作ってもらおうという意味では柔らかな表現は25年26年くらい、そして写真を取り入れたり各公民館の事業を分かりやすくしてここまで来た経緯があります。というわけで今年度の重点目標まで来た訳です。さて来年度をどういうふうにするかという事です。</p>
委員	<p>具体的なんですが30年度の未来大学で「市内5館などで事業を実施します。」ということで各館でテーマを設定してやったんですが、来年度は「市内全域を舞台に事業を実施する。」と書いてあるんですが具体的にどういうことを考えているのか聞きたいです。</p>
尾又館長	<p>昨年度は各館で講座を実施するというような重点目標にさせていただきましたが、31年度のを今ヒガシヤマト未来大学の企画運営委員さんと集って話し合っているところですけど、各館で5回ずついっぱいではなく、もっと緩やかなことをやりながら、特に今蔵敷班が始まったわけなんですけど、博物館を講座の実施場所として使っていたりということで公民館に縛られずにすでに今年度も行っているんですが、31年度についても各館に縛られず緩やかな場所選びをしたいということがすでに意見の中に入っていて、具体的にどこを使って何をやるかというところまでは議論が進んでおりませんが、その辺は縛りを取って市内全域をということで、30年度の実態でおおよそ思っているんですけど31年度につきましても各班とも市内全域を考えられたらという事で30年度のもの31年度のものとも表現を変更させていただいております。</p>
委員	<p>未来大学の資料をこんなに持っているんですけど、30年度の裏側に市内5館の未来大学についての取組み予定が、これは4月に発行し</p>

	たものですよね。前回の事業報告の中でも報告がありました。すでに30年度は5館がそれぞれ計画し、進んでいるところで、私の理解としては今年度の成果を基に来年度も引き続きそれぞれの館が独自の考えもあり、創意工夫をしながら未来大学の内容を深めていくんだらうなど思っているところでございます。
委員	不勉強で申し訳ないんですけど、重点目標を市民の方に見てもらうために分かり易くという事が言われていましたけれども、28年29年度は写真が掲載されてあるということですが、具体的にどういう事業を載せたんでしょうか。
委員	例えば28年度「外国人と市民の交流」「やりがい講座」「狭山こども体験教室」「中央公民館まつり」「子どもたちとの公民館&児童館」29年度はタイトルは同じですけど写真を変えています。
委員	これを見ると公民館まつりの方が大体主体なんですけど、公民館まつりは大体の市民の方知っているんですよね、内容も分かっている、もっと公民館を使ってやっているという写真はないんですかね。公民館としてこれは良いなと思うような、例えば「外国人と市民との交流会」また他に何かあるような気がするんですが、その辺お考えいただけたらと思います。委員色々お分かりだと思んですが。
委員	例えばなんですけど今お話いただいたことと、周年事業でも話が出ていて、パンフレットを早急にでも公運審で作れたらいいのかなと思うんです。プロという動きが周年事業の中にもあるんですけど、どういう写真を入れたほうがよりいいよとか、公運審でたたき台でもいいから作ってみるといような動きが出来ると、それを基に周年事業ではこういうパンフレットを作ろうということになって行くのかなと思うんです。公民館の職員の方ばかりに任せないで、パンフレットはこの写真入れようよ、こういう物を作ろうよと、ここでたたき台が出来て皆さんとやり取りできると良いのかなと思ったのが一つと、そうした場合に文字が硬いと思うのは、「目標の概要」とか「施策の内容」というのはパンフレットの言葉じゃないなと思ったりするので、この辺りをもっと市民により分かりやすくするのであれば、こういうものはどうですかとか例題を出して、ここにこの写真があったほうが良いよとか、今まで出来てたものを公運審で作らえるような事が出来ると、皆さんの声を入れて出来るのかなと思いました。
委員	今回パンフレットも重要だと思うし必要な事だと思うんですけど、皆に行き渡って見てもらう中々そういう機会が無いんで、写真で何か新しいものを、例えば南街で毎年正月に音楽会をやっていますが、ああいうようなものを写真に入れる、まだまだあると思いますけど、まつりよりは具体的なものを写真に入れてもらった方が、何でもかと言うと各サークルが今若干減っていると、そういったことに影響していると、写真を折角入れるんでしたら皆が喜ぶような写真、具体的には言えないんですけど、長年やってる新春コンサートああいうものを、もう一つは提案ですけどグルメ教室なんかをやっているところを写真に載せる、今度ちょうど蔵敷案に書いてあるようなこともあるんですけど、そんなような写真の掲載というのも出来れば有難いです。
委員	2つ出てるんですけど、何の写真を取り入れるかというのと、項目の事ですね。写真についてはこれまでは審議会の中では意見を吸い上げた事はなかったものですから、皆さんの方から、今委員から話があったように、こういうイベントの写真はどういような事を事務局の方に寄せてもらって、作る段階になった時に写真の提案が出来ればいいかなと思いますけど、時間的な余裕があれば審議会

	で連絡事項になるかもしれませんが、この写真でいきたいという事が一度でも出ればいいかなというふうに思うんですが、そこら辺の写真の選び方、掲載の仕方については尾又館長から何かありますか。
尾又館長	こちらの重点目標を実際に印刷するのは4月1日に入る直前に印刷をかければ間に合いますので、写真についてはこの様な内容で載せますという原稿をお見せして、イベントの写真を差し替えてほしいというご意見は実際に具体的な写真を提示した上でご意見いただければ良いかなと思います。3月までに皆さんに原稿を見ていただいて具体的なご意見いただければと思います。
委員	写真については、話しながらこの審議会を出してもらおうということでしょうか。 項目についてなんですけど、31年度の中央公民館重点目標として出されている資料2は報告書の方のタイトルになっています。(1) 目標の概要(2) 施策の内容となっていますが、実は(1)は重点目標(2)は運営です。市民に配布するものは、例えば平成30年度の公民館、1重点目標、2運営となっているわけなので、配布する時はそういう項目になる、こちらは報告書のタイトルであるという解釈でよかったですね。
尾又館長	(1)(2)のタイトルが重点目標と運営だったんですけど、全部の文章が重点目標という社会教育課や図書館と同じ扱いにするということで、タイトルが重点目標というタイトルで(1)と(2)で概要と具体的な内容に分かれていますので、そちらの方を項目にさせていただきます。
委員	項目の書き方、語尾について皆様の意見を合わせたいと思います。
委員	公民館以外の重点目標の書式というものがあって、今回これに合わせているんですか。
尾又館長	前回皆さんにお配りしたんですが、そこに出ている社会教育部のところで社会教育課と図書館と合わせました。「東大和市の教育」に載せているスタイルで今後載せていくということです。ただ、前回「です。ます。」調が良いんじゃないですかというご審議が始まりましたのでこちらの結論をいただければなと思います。
委員	この中も「です。ます。」調に変えるんですか。
尾又館長	いいえ、「東大和市の教育」のスタイルのために「である。」調で行いますけども、配布するものにつきましては皆様のご意見をいただきたいと思います。
委員	目にふれた物は「です。ます。」調で配られたんですよね、去年は。今回もらったようなものも去年もあって、それは報告に使われたんですよね。その報告に使われたものを今年は配るものも同じ文言にしましょうという風に前回提案されたんですよね。
尾又館長	そうです。
委員	そうすると決めた重点目標は市民の方にお伝えする題材としては、何と何がありますか。
尾又館長	「こうみんかんだより」の5月号にいつも載せています。あと、チラシの形にしまして窓口で配っています。「東大和市の教育」も閲覧できますのでご覧いただく、ホームページは「こうみんかんだより」が載っています。
委員	初歩的質問ですけど、今までと違う形で一致させようという主旨はなんですか。
尾又館長	微妙なニュアンスなんですけど、私だけの心の問題かもしれませんが丁寧にしたことによって援助するというニュアンスが出るといういま

	<p>すか、元々サービス機関と言われますけど、サービス機関というよりは学習機関であって、皆さんが主体であるというところがあると思いますので、公民館が主体で皆さんを引っ張っていくというよりは、「します。」だと公民館がいかにもやってあげますよというイメージと、「支援する。」だとお互いに一緒に歩み寄ってやりましょう、お互いに主体ですよというようなニュアンスが出るかなというイメージをもっております。皆さんでどういうニュアンスを受け取るか、より良いニュアンスにさせていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>それではですね、諮問内容としては館長の方からお手元の資料のように31年度の重点目標として「する。」という表現で、皆さんから反対意見が強ければ変えるということになりますが、今まで意見を聞いて見てどうでしょうか。</p>
委員	<p>今、館長のお話を聞いて市民が主体的に動いていこうと感じるのは、私は原文のままが心に来て、市民が客観的ではなくちゃんと取り組んでいくんだというように受け止れるのは、この形のほうが私は心に来ました。</p>
委員	<p>先程の写真の案をというお話がありましたけども、1つの写真で皆さんにわかりやすく、幅広く宣伝するのに、例えば提案なんですけど前回狭山公民館で異世代交流事業の講座の中で将棋を取り上げたんです。今、将棋が藤井聡太さんの影響で流行っていて非常に大勢の方がみえていたんです。そういうことを写真によって紹介すれば市民の企画の講座も出来るかもしれない、広い意味で宣伝になるような気がしたんで提案です。</p>
委員	<p>語尾についてはいかがですか。</p>
委員	<p>私は「する。行う。」で良いと思います。</p>
委員	<p>他の皆さんもいかがですか。</p>
委員	<p>大事なのは市民が主体となるというところで、考えているうちに分からなくなってきちゃったんですけど、受け取る方によってその辺は分かれるところでもあるかなと思います。大事なのは市民が主体となるという思いだと思うので、あとは皆さんの意見で良いかなと思いました。</p>
委員	<p>確かに受け止め方、それぞれ公民館の事業に対する係わり方が実際には大事なところだということでしょうね。いかがですか。前回の資料31年度については、その表現、市民のために周知していくという方向でよろしいでしょうか。ご意見ありませんか。</p>
委員	<p>例えばこれはパンフレットではなかったわけなので、これは公民館がきちっと出すもの、資料ということであれば報告書に書いたとおりの表現で出していただいて、自分達がこういうパンフレットを作りたいという時には、言葉を変えたりとかいうことが可能であればまたここで考えていけばいいのかなと思いましたので、私は4月に出る資料については、このままで良いと思いました。</p>
委員	<p>では、31年度の公民館の重点目標については、前回の資料2のとおりの内容で行くということに致します。 こちらの問題は終了致します。</p>
委員	<p>それでは、審議事項「公民館運営審議会委員研修会について」を議題といたします。尾又中央公民館長、説明をお願いします。</p>
尾又館長	<p>本日の次第の中に「公民館運営審議会委員研修会についてのアンケート 集計結果」A4版1枚でございます。 「研修会で実施したい内容、テーマ等をご記入ください」という事と「講義をお願いしたい講師がいらっしゃいましたらご記入くださ</p>

	<p>い」という、こちらからのアンケートにお答えいただいた内容がこちらに書かれているものです。全部読んでいただいているかなと思いますが、「講義をお願いしたい講師がいらっしゃいましたらご記入ください」の一番下を書いてありますものは、先日の正副打合せの時に若手の人も入ったら良いんじゃないかということで、井口啓太郎さん国立市の職員で今文部科学省生涯学習政策局派遣の方が追加されました。あとは皆さんに出していただいたものになっております。以上です。</p>
委員	<p>前回アンケートということで皆様にご書いていただいたものを集計してそのまま書き並べてもらったものです。ご覧になっていただけたと思いますが、講義をお願いしたい講師ということで、3名までが皆様の方から出していただいたんですが、それぞれご高齢の方々でさらに今話がありました若手の井口啓太郎さん、この方もどうだろうかという話しがあったので加えさせていただきました。</p> <p>今日は、研修のテーマで迫るか、お出でになる方をおおよそ決めるかしないと、人の場合には相手方の都合もございます。今までの経緯からいうと、皆さん資料はお持ちですか資料3になっていました平成12年度から29年度までの研修会で「いつ」「テーマ」「講師」「場所」などが書かれている表の中で外に出かけたりこちらにお呼びして話しを聞いたり、いずれにしても講師として呼ぶ場合、出かける場合も相手方の都合もありますので、こちらで決めている研修日に該当するところでない、というところもあります。そうでなくても今の内に人を決めるのが良いかなと、テーマについてはこういう点までお願いしたいというふうにお願いすると、4名の方々は柔軟にやってくさるかな、上の3人の方はどうかというのがあります。</p>
尾又館長	<p>年齢で言いますと島田先生は83歳くらいかなというところで、私も全部の色々な研究の勉強会に出ている訳ではないですけど、ちょっと最近お見かけしないのでどうしてらっしゃるかなと思っております。</p>
委員	<p>金田光正さんは昨年度の都公連の研究大会の職員部会の助言者として登壇していただいた方になります。こちらにも書かれておりますが、『月刊社会教育』という冊子の編集長を現在勤めている方で、元富士見市の鶴瀬公民館の館長さんで現場出身の方ですので、社会教育にも精通されている方です。年齢としてははっきり分からないのですが60代後半くらいかなと思います。</p>
尾又館長	<p>朝岡先生は59歳かなと思います。今まで東大和でも結構お呼びしてたりするので馴染みの方ではいらっしゃいます。ただ最近研修会であまりお見かけしないようです。学校と社会教育を結びつけるというような事に興味があつて、学校に入り込んでやっているのかなという気もしています。あと居場所の関係ですね。公民館という事にとらわれずにコミュニティでの活動にシフトしているというか、元々先生ですので公民館の現場ではないです。</p> <p>井口さんは、すごく活躍してまして、色々な研究会でも呼ばれていらっしゃいますし、呼ばれるだけでなく運営の立場でもやってらしたりとか、大変お若くていらっしゃって公民館の職員だったということもあります。</p>
委員	<p>朝岡さんは平成23年の研修会や平成15年というところも今まであります。井口啓太郎さんは国立公民館の見学会の時に国立の公民館にいた方なので、その時に話しを聞いたという感じです。ご意見をお願いします。</p>

委員	<p>どういうテーマでやりたいかというのが1つと、そのテーマにのって誰がいいかなということを私としては思っています。皆高齢だという事ですが、朝岡さんはまだ現役だと思います。井口さんは来年の研究大会の第三課題別集会でやることになっています。とにかく何をテーマで聞きたいかというのを決めて、それに連動して講師を決めたらどうかなというのが私の意見です。</p>
委員	<p>委員の意見としてはこの中でどちらがいいですか。</p>
委員	<p>私は講師として朝岡さんを書いたんですけど、「公民館とは何か～四つの役割～」これをテーマとして出して、そのテーマにそって朝岡さんがいいかなと思って、前に1回聞いた事があるんです、三多摩テーゼの話も出て、朝岡さんは府中なので三多摩には色々造詣が深いんですよ、そんな様なことで書いて出したんですけど、テーマを決めて、相応しい先生を決めたらどうかなというのが私の意見です。</p>
委員	<p>委員のお話になった「公民館とは何か～四つの役割～」この事に関して朝岡先生のお話を伺ったと聞いたんですけど、具体的にどういう内容でお話を聞いたのかももう少し説明していただければと思うんですが。</p>
委員	<p>三多摩テーゼの四つのテーマがあると思いますが「公民館は住民の自由なたまり場です」「公民館は住民の集団活動の拠点です」「公民館は住民にとっての「私の大学」です」「公民館は住民による文化創造のひろばです」これがいわゆる三多摩テーゼです。朝岡さんは東京農工大学の先生で現役でやっていて、資料を持ってこなかったんですけど三多摩テーゼに詳しいので私としては載せたんですけど、それにこだわる事はないです。</p>
委員	<p>研修については、何をやっても勉強になる、どういう先生が来ても勉強になると思っています。これで無ければいけないというのは自分の意見としては無いんですけども、東大和の5館の公民館で例えば五館合同交流会とかやっていて今話題になっているのは、各公民館でサークル間の交流であるとか、利用連の加入率が減っているとか、皆さん色々な利用連の話を聞くと悩みを抱えています。そういう意味で三多摩地区の公民館の各市の動きの中で、こういう風になっているよとか、こういう風にうまく行ってるよ、みたいな所があれば、話しを聞いてみたいし、そういうテーマで講演すれば参加者も増えるかなと思っています。そういうような勉強が出来たら、私たちも聞きたいし公民館の利用連の役員をやっている方々も関心を持っているわけなので、どうかなとそんな風に思いました。</p>
委員	<p>当面の課題をそれぞれの公民館が抱えているわけで、そういう課題に対してヒントになるような話があればという内容に係わる事ですね。他にいかがですか。</p>
委員	<p>委員のお話大賛成で、やはり利用連のあり方とかサークルに対して色々伝授するとか、そういうことを実働的に話してもらったらすごく勉強になる、実際に利用連の役員をやりたいくない、やるなら最後やめようという所も出てくるようなことで、長く持続的に公民館で活動するには、こういった身近なモデルケースをお話ししていただいたり、ご提案をしていただければ大変有難いです。大賛成です。</p>
委員	<p>朝岡さんに現状としてサークルが減っているというような事、他の市の情報もお話してくれそうですか。委員の感触としては。</p>
委員	<p>頼めばやってくれるんじゃないですか。</p>
委員	<p>今出ている話からすると朝岡幸彦さんに今日の審議会で出たテーマも含めて、可能であればお願いするという方向でよろしいですか。</p>



委員	この研修内容を見て別の意見を言うてしまうんですが、まるっと全部がつながる事は無いかなと思った時に、周年事業を控えているんですけど答申の中に盛り込んだ内容としては、井口啓太郎さんに教えていただいた国立でのパンフレットだったりを盛り込んだ答申案を作っているんですけど、周年事業のために公民館がどう動いていったらいいかみたいな所を考えるとしたら、少子高齢化のことですか、公民館の社会教育の目的役割ですか、人を育てる、地域を育てるですか、公民館とは何か、子どもの居場所作りですか全部盛り込みすぎかもしれないですけど、周年行事を見据えた、そして井口啓太郎さんは周年事業を体験している、私たちもそれを基に答申案を作っているというところでは、私は周年事業についてどういう風にこれから私達が動いていったらいいのか、利用連の加入率なども係わってくると思うし公民館の利用率も係わってくると思うので、周年行事のためではないです、私達の生きる力になるためのものだと思うんですけど、私は井口啓太郎さんが良いかなと思ってはいます。
委員	今、委員が言ったテーマは来年の研究大会の第三課題別集会でやることになっています。2回やっても良いと思いますが。
委員	それではですね、日付が限定されますので、今出ました朝岡さんと井口さんで都合がどうかということも含め、どちらの方になっても今の感じだと私達の想い願い、アンケートをいただいたものと今日お話いただいたものを含めて、改めてこういうテーマで行きたいというのを事務局の方で聞いてもらう、そのような方向でよろしいですか。 では、1月の研修会については朝岡幸彦さんか井口啓太郎さんをお願いしたいということで、研修日に合わせてなんとか都合をつけてもらって、テーマについては今あがってきたものでお願いするという事です。
尾又館長	ひとつ聞いてもいいですか。朝岡先生をお願いした場合、自分の研究室の降旗准教授を推薦されたり、あるいは岩松講師を推薦されたりする可能性があるんですけども、朝岡先生ピンポイントでよろしいんですか。それとも朝岡先生が都合がつかない場合には同じ研究室の先生に話しに行くかも知れないんですけど、どうしましょう。
委員	朝岡先生は都合が悪いと言うかもしれないです。
委員	折角ご希望の講師の方が皆さんから上がっているの、優先的には今出た方で、もし別の方になるのであれば80代の方はわかりませんが金田さんとか、名前を上げていただいた方をお願いするのがいいんじゃないですか。
尾又館長	では、朝岡先生がご都合悪くて別の先生を推薦されても、他の方の名前も上がっているのということで一度お話ししてもいいですかね。
委員	ここに載っている方に問い合わせるということで、テーマは絞りますか。
尾又館長	こんなテーマをいただいているんですけどというふうに提示して、先生が選ぶのでも大丈夫ですか。
委員	お話しする方がこんな話しをしようと思うんで、それでどうですか。 では、先にお二人朝岡幸彦さん井口啓太郎さんにお話を伺って、朝岡先生の場合はじゃあみたいなお話しがあるかもしれませんが保留してもらって、金田さん、島田さんに問い合わせ、4人の中で決めたい。テーマについては、こんなものが審議会の委員からは出ています

	<p>ということでテーマを決めていただく。</p> <p>もうひとつあります、従来これは委員研修会ですのでここだけなんです、ここ2～3年くらい関係の市民というか、皆さんそれぞれの団体から代表でお出でになってはいますが、そこにお知らせをしてどうぞ来てくださいと研修会を開いています。そういう形の方がよろしいですか。</p>
委員	<p>アンケートに書いておいたんですが、課題、今後の対応等を公民館利用者、市民にも呼びかけて、幅広く研修会をやりたい、ということです。</p>
委員	<p>折角お出でになるんですから利用者さんもお出でいただければと思います。</p> <p>では、以上で研修会については終わりにします。</p>
委員	<p>それでは、審議事項「答申文案検討について」を議題といたします。説明をいたします。</p>
	<p>お手元の資料【第12回（10月18日）公民館運営審議会用 資料】答申書（案）です。前回お話しを皆様の方からもらった所は3ページの4番記念誌の（1）イラストを使いながらを用いてに（4）「早めに」を「速やかに」に変えました。6番のリーフレットのルビ付きというのがありましたが一般的であろうということでそのままです。4ページⅢおわりにの3行目前回と前々回の周年行事と同様にと書いてあったんですが、はっきりと30周年及び40周年の行事と同様にとして数字を入れました。いよいよ最終回です、これでいかがですか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>熱心にやったのでこれで良いんじゃないですか。</p>
委員	<p>特になければこれで「案」を取って、正式な文章にします。</p> <p>以上で審議事項を終わりにします。</p>
委員	<p>続きまして、次第の4「その他」でございます。ご意見などはありますでしょうか。</p>
	<p>「質疑・応答」</p>
委員	<p>以上で、次第の4「その他」については終了となります。事務局から追加事項はありますか。</p> <p>本日本日予定した議事はすべて終了しました。閉会前に副会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
委員	<p>挨拶</p>
	<p>これをもちまして、第24期第12回公民館運営審議会を閉会いたします。お疲れ様でした。</p>